

同窓会だより

発行／桜美林学園同窓会 〒194-0294 東京都町田市常盤町3758
 発行日／平成27年12月1日 電話 (042) 797-1632
<http://www.obirin.jp/alumni/> E-mail: alumni@obirin.ac.jp
 (印刷 (株)サン・メールサービス) 振替 00120-5-41288

リ・ユニオンお知らせ・会長挨拶	1頁
退任の辞・ひろば	2. 3頁
成人式・蔡氏名誉博士号	4頁
OB・OGの会	5頁
川村先生追悼	6. 7頁
オビリンナーの輪	8. 9頁
「秦野の梅ちゃん先生」	10. 11頁
クラス会・同期会	12. 13頁
清水安三先生の論説・学園ニュース	14. 15頁
伊豆高原クラブ、編集後記	16頁

2015年 同窓会総会 & リ・ユニオン 喜寿・古稀・還暦祝い礼拝

♪お帰りなさい 学びのふるさとへ♪

日時：6月27日(土)

総会会場：桜美林学園 荊冠堂チャペル・桜カフェ

会費：3,000円

(懇親会参加者のみ・当日集金)

申込締切：6月15日(月)

プログラム

11:00 同窓会総会 (荊冠堂チャペルB1小ホール)

12:00 「喜寿・古稀・還暦の祝い礼拝」 (荊冠堂チャペル)

12:50 『リ・ユニオン懇親会』(桜カフェ)
 “活躍するオベリンナー”

※受付は、それぞれ30分前より開始



☆お申込みは6月15日までに同封のハガキにてお願い致します。

☆当日は淵野辺駅よりスクールバスが運行しております。

リ・ユニオンに御出席予定の先生方

◇中学・高校◇

内山 美津夫
 奥脇 信久
 小椋 郊一
 片桐 幸宏
 神田 道彦
 小林 茂
 後藤 宜昭
 柴 適
 藤崎 堅信

◇大学・短大◇

岩井 清治
 神山 八重子
 郡山 直
 小堀 深三
 濱西 榮一
 平本 善一
 三島 次郎
 山口 祐司

(敬称略・アイウエオ順)

「リ・ユニオン」では、多くの先生方へご出席をお願いし、交流会も催したいと準備を進めています。リ・ユニオンの意味は、再び帰る！です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

「リ・ユニオン」へもご参加いただきたいと願っております。

2015年度は、例年最初の活動である「喜寿・古稀・還暦祝い礼拝」を「総会・リ・ユニオン」と同時開催することに致しました。「喜寿・古稀・還暦祝い礼拝」は人生の節目をお祝するため、2006年から始めた礼拝で、毎年4月29日に行われた旧校舎での桜祭りを懐かしみ、また今の学園の姿をご覧いただきたいという気持ちを込めて対象者へご案内をして参りました。今年度は、「リ・ユニオン」と同時開催すること、(「祝い礼拝」)のご参加者に「リ・ユニオン」へもご参加いただきたいと願っております。

2014年度の活動もお陰さまで無事終了することができました。ありがとうございました。桜美林学園同窓生は、3月2日の中学・高等学校の卒業式、3月16日の大学・大学院の学位授与式を終え、いよいよ10万人に達しました。

同窓会会長 佐藤 誠一郎

『喜寿・古稀・還暦祝い礼拝』と
 リ・ユニオンの同日開催について

2015中高文化祭 2015年9月19日(日)・20日(月)

2015大学祭 11月予定

詳細についてはホームページ、または事務局へお問い合わせ下さい。

退任の辞

桜美林大学の発展と一抹の不安

LA学群教授 石井 敏



この3月に退職を迎えることになりました。1972年に桜美林大学経済学部に入職してから42年間在職したことになります。

1972年当時の桜美林は、文学が文学部と経済学部、短大が英文科と家政科からなり、学生総数が2000人程度でした。教員も職員も少なく、学生も教職員もお互いに顔見知り、「ホームライク・スクール」の謳い文句通り、実に家庭的な雰囲気を持った学園でした。経済学部は、1、2年生は基礎ゼミを持ち上がりの担任制で、3、4年は専攻ゼミで2年間ずつ継続していたので、学生の個々の事情まで理解して和気あいの雰囲気勉強することができました。当時の卒業生とは現在も親しく交流しています。

この学校の雰囲気が変わって

ったのは、1989年に国際学部が新設されて以降、経営政策学部の創設（1997年）、総合文化学群の開設（2005年）、健康福祉学群の開設（2006年）と拡大路線を歩み始めてからです。

とくに2007年に、それまでの文学部、経済学部、国際学部を合併し、短大を吸収することによってリベラルアーツ学群が創設され、大学の規模が学生総数8000人を超えるようになってから、学生と教員、教員と職員、教員間の交流が少なくなり、自分の学群の教員間でも言葉を交わしたことがない人が多くなりました。古き良き桜美林の伝統が消えていきました。

桜美林大学の規模は学生総定員数で約4倍になり経営規模が拡大しましたが、淵野辺キャンパス（PFC）、四谷キャンパス、多摩アカデミーヒルズなどの開設、多くの校舎の新築がなされ、そして近い将来に大久保キャンパスの開設が予定されており、それらの拡大路線によって財務状態が悪化し、教育・研究経費が大きく抑制されるようになりました。

規模の拡大の一方で、学生の学力レベルが低下しています。少子化が進み、定員割れを起こしている大学が東京周辺でも増えています。桜美林がいつそのような状況に見舞われるかわかりません。定員割れを起こしたならば、拡大路線で多額の借入金を抱えている桜美林学園は、経営危機に陥るかもしれません。桜美林を去るにあたり、そのことが非常に気がかりです。

桜美林大学に現在求められているのは、規模の拡大ではなく、教育と研究の質的向上を通して、桜美林大学の魅力を高めることです。学生を引き付けることができ魅力ある大学に急速に変身していくことを願っています。桜美林大学理事長、桜美林大学学長の真のリーダーシップが問われています。

中高教員 伊藤隆吉



1972年4月、日本体育大学武道学科4期生卒業の私は桜美林学園に赴任致しました。始業式での新任紹介の後、剣道部員を集めていきなりこう言いました。「み

んながついてきてくれるんだっから、絶対優勝させてやる」と宣言したので。1回戦負けのチームを3年かかって東京都初優勝まで導きました。ちょうど止戈徳館落成式の記念すべきその日だったのです。創立者清水安三先生からある時、「今一度生まれ来たらば今一度 同じ生涯生きむんとぞ思う」の掛け軸を頂きました。創立者のこの心境には心から敬意を表しております。高校で38年、中学で5年の計43年間お世話になりました。担任していた頃は、今みたいに全員から賛同を得ようとは思わず、3分の1がついてきてくれればそれで良しの方針でやっておりました。

クラブ指導に於いては、「手塩にかけて育てる」の一念。部員も監督も、OBも父母もみんな一体となつて大会に望んだものです。苦しいこともありましたが、楽しかった。本当に楽しかった。春休みはいつも熊本の阿蘇遠征です。部員も監督もあそこで学ばさしてもらいました。全国優勝はしようと思ってもできないが、しかし、しようとおもわなければ絶対出来るものではありません。関東大会では8回の優勝。2位1回、3位3回。インターハイでは優勝、準優勝、3位と経験しました。個人戦でも3位になりました。男子が国体選手になって東京代表として

出場したことも思い出のひとつです。剣の道を知ると言う事は、人の道を知ると言うこと。剣の心が分かれると言う事は、人の心がわかると言うこと、剣を学ぶということとは、正師を求めるということ。部員も監督も剣道を学んだのではなく、剣道で学ばせていただきました。

4年前の3・11東日本大震災のあの日、帰れる生徒は夜12時頃までに保護者に引き渡し、残りの生徒200名強の生徒達と一緒に一夜を過ごしました。田舎の長兄と連絡が取れたのは9日経ってからでした。復興にはあとまだ10年かかるでしょう。あのとき私が学んだことは、「而今」と言う言葉です。人間は過ぎ去った過去を変えることはできない。未来のことだからこそ、今の、この一瞬・今日と言う一日を精いっぱい生きる。ことが大切だと言うこと。私は、これからの第二の人生をできる限り「当たり前のことを当たり前に」をモットーとして生きて行きたいと思っています。

桜美林にきたお蔭で、全剣連から派遣されてメキシコ（1年間）・中南米・南米と派遣され、ヨーロッパ剣連からの招聘で約10年間、ヨーロッパの各国を回って剣道指導が出来たことは幸運でした。（30ヶ国の剣友ができました。）5

月末、日本武道館での世界剣道選手権での再会が愉しみです。

オビリンの中・高生の皆さんに最後のメッセージとして伝えたいことは、いい意味でプライドを持ちなさいと言う事です。あなたがたは1個人としてそしてオビリンナーとしての誇りをもってこれからの21世紀を胸を張って生きて行つてほしいのです。

師匠、村田幸郎先生を初め諸先輩・諸先生方に心から感謝申し上げます、桜美林学園の今後益々のご発展ご繁栄をご祈念致しましてお別れの挨拶とさせていただきます。

感謝合掌 伊藤 隆吉 拝

著書

全国優勝は1回だけでいい

「勝つ心を鍛える」 恵雅堂出版

淑として凛

「花には水を、人には愛を、剣には心を」 島津書房

感謝の集い

長谷川 隆一 (73大経)



2015年2月14日の聖バレンタインデーの日に、東京上野の不忍池の畔にある中華料理の老舗、東天紅上野本店で桜美林大学経済学部卒生80名が集い、リベラルアーツ学群専任教授、石井敏先生の「感謝の集い」が開催された。集まった卒業生は、「石狩会」のメンバーである。石狩会の名前

の由来は1973年、狩野博ゼミと石井敏ゼミの両先生の頭文字であり、両ゼミの学生が大学祭で「焼き鳥・おでん」の模擬店を開催した事が始まりである。この会は33年間続き、延べ385名の卒業生を世に送り出した歴史ある会でもある。



石井敏先生 感謝の

石井敏先生はいつも我々の傍にいてくれた。「先生、ありがとう。先生には、感謝の気持ちで一杯だ。本当にありがとう。」これから先も石狩会の想い出は忘れない。

ゼミの学生は石井敏先生から、多くの事を学び社会に飛び立つて行った。卒業後もオビリンナーとして人間力を養い、世の中の為に一生懸命に生きていく事が、石井先生や桜美林学園への恩返しであり、卒業してもこの関係は一生涯続くのである。

感謝の集いは瞬く間に2時間半が過ぎて行つた。東天紅の上野本

店も2月15日の営業を最後に隣の新館に移る。4月からは石井敏先生も新しい人生を歩み始める。人生は一回限りだ。その人の人生はそんな人しか生きられない。だからこそ夢と希望を持ち続けて生きていきたい。また、先生とお逢い出来る日を、みんな楽しみにしている。

定年退職者

【大学教員】

石井 敏

矢野 眞和

道鉢 滋穂子

新屋 映子

坂田 澄

佐々木 倫子

鈴木 勝

西郡 正渡

【中高教員】

高須 良子

伊藤 隆吉

【職員】

鍋島 礼子

島村 安博

高橋 修

新井 博人

長い間

ありがとうございました。

ございました。



ひ

ろ

ば

鈴木 政伸

87大経

(福島県いわき市)

東日本大震災で自宅と家族をなくしましたが、10月に新しい災害公営住宅に入居しました。自宅周辺は工事が進み、海岸の堤防の工事も進み復興の足音がきこえるようです。自然災害には勝てませんが人間は思っている以上に強いです。

廣田 典子

86短英

(神奈川県伊勢原市)

同窓会だよりありがとうございました。40歳を過ぎてから保育士資格を取得し、現在パート保育士として勤務しております。昨年、勤務先の園に桜美林の学生さんが実習で来られました。私の学生時代には家政科と英文科しかなかったので保育実習をするオビリンナーは不思議な感じがしました。たくさんさんの学生さんがいろいろな学校から実習に来られますが桜美林の学生さんは非常にしっかりと実習に取り組んでおられ態度もすばらしかったので園の職員の中でも評判が良く私も誇らしかったです。現場で桜美林出身の保育士さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

薦田 実

85大商

(新潟県妙高市)

今夏より新潟妙高高原にてペン

ションを開業しました。スキーはもちろん夏の高原合宿など職員の方、御同窓の方、ご優待致します。ご一報下さい。

Happy Pads (ハッピーパズ)

新潟県妙高市杉野沢253-2

TEL 0255-8616788

FAX 0255-8616780

E-mail happy pads@lake.ocn.ne.jp

HP www.happy-pads.com

水谷 (ヒル) 維麻

09大健康心理

(神奈川県横浜)

米国のミズーリ州立大学セントルイス校大学院博士課程後期教育学部カウンセリング学科に在学中です。異文化カウンセリングを研究しています。仕事は栄養教育プログラム講師として働いています。昨年春に米国人と結婚しました。(夫は生物化学者の卵です。)

中山 克枝

78短英

(神奈川県藤沢市)

昨年文化祭に伺いました。とてもなつかしく、又お世話になった川村先生も102才になられ先日お電話で話しました。なつかしかったです。川村先生いつまでもお元気でいらして下さいね。昨年、横浜支部の同窓会に伺い楽しかったです。又伺います。色々ありがとうございました。

成

人

式

2012高卒業生



◆成人礼拝◆

成人式を終えて

第64期卒業 赤穂 沙崎

去る1月12日、私たち第64期卒業生は成人を迎えました。成人式当日は雲ひとつない快晴で、私たちの成長を祝福しているようにでした。チャペルには約200名もの変わらない仲間が集まり、本田栄一先生のおことばをいただきました。久しぶりの讃美歌や校歌に皆笑みを浮かべながら式は無事終わりました。引き続き行われた桜カフェでの立食パーティではなつかしい仲間との再会の喜びを解放し、凄まじい盛り上がりとなりました。晴れて成人を迎えることができた私たちは、これからさらに成長していきます。今後も温かく見守っていただけたら幸いです。また、過去最多の参加人数となった今回の式の開催に協力して下さった関係者の皆様、本当にありがとうございます。また変わらぬ仲間と再会できる日までそれぞれが輝けますように。



お祝いの言葉

行事委員会 谷津町子(73高校)

去る1月12日、高校の第64期卒業生約200人が荊冠堂チャペルにて成人の祝いの礼拝に集まりました。礼拝のあと、桜カフェにて同窓会主催による懇親会が開かれました。

きつちりとしたスーツ姿、色とりどりの晴着姿の新成人たちは皆、希望に満ちた顔で、頼もしくさえ思えました。飲み物やサンドイッチ、菓子等でおもてなし致しました。

久しぶりに再会した先生方や級友たちとの会話が弾み、ビンゴゲームなどでも盛り上がっていました。幹事の私たちも、ふと自分の成人の頃を思い出し、気持ちや和むひとときでもありました。

また当日は、御父兄の方々も大勢参加され楽しい時間を御子息たちと共有されていました。大人の仲間入りをされた姿を御覧になって、さぞかし感慨深いことと思います。

新成人たちがこれから各々の人生を歩み、時にはつらいこともあるでしょうが、この桜美林で得た経験や人とのつながりで大きくのり越えて行ってほしいものです。そして、オビリンナーとしてたまには同窓会の行事にも顔を出して

下さることを期待し楽しみにしております。いつでも門を開いている同窓会でなくてはならない、と幹事一同気持ちを新たにした成人の日でした。

蔡兆申さんに

名誉博士号



1952年(昭和27年)台湾生
1971年(70年度)桜美林高校卒業
その後アメリカの大学、大学院で物理学を学び、博士号を取得

1983年 日本電気kkの研究員、やがて主席研究員に就任
2001年 理化学研究所巨視的量子コヒーレンス研究チーム・リーダーに就任現在に至る
2004年 仁科記念賞
2008年 サイモン記念賞
2014年 江崎玲於奈賞
数々の賞を受賞した功績により、この度桜美林大学は名誉博士号を贈った。

高等学校野球部OB会

10周年記念式典報告



前OB会会長 八木紀興(70 高校)
2014年12月6日(土) 町
田徳樹庵にてOB会総会および記念
式典が開催されました。OB会も今
年で発足10年目の節目を迎えるこ
とができました。これも偏にOB会
員の皆様のご支援ご協力のお陰だ
と感謝しております。

総会では、2014年度のOB会
活動状況や会計報告後、各議案事
項については承認をいただきました。
また役員選出では、会長に關
田雅晴氏(66卒)が立候補され、
満場一致で選出され、各役員の留
任も承認されました。2015年
度のスタートです。



引き続き行われた式典には、74
名の皆様の参加をいただき、会の
10周年をお祝いくださる方々の出
席を賜りました。

学園の総長・理事長の佐藤東洋
士様、中学・高等学校の校長大越
孝様、学園同窓会会長の佐藤誠一
郎様。また在学中にお世話になっ
た、阿久根秀明先生、野中庸且先
生、藤崎堅信先生、藤野英雄先生、
浜野(井上)綾子先生、そして濱
田宏美元監督。当時やんちゃだっ
た教え子との再会に目を細め懐か
しさを隠しきれない様子でした。

また特別会員の皆様、父母会役
員の方々と多数のご参加をいただ
きました。佐藤総長・理事長、大
越校長のご挨拶では、野球部また
OB会に対しても励ましのお言葉を
いただき、会員全員が勇気づけら
れました。これからの野球部は指
導者、選手一同が一丸となって、
甲子園目指して大会には望んで欲
しいと思っています。OB会として
も精一杯の支援をしていくつもり
です。

また会の半ばOB会特注ジャンバ
ーを佐藤理事長、大越校長、佐藤
会長、小川康夫様(特別会員)に
贈呈し喜んでいただき、またいつ
そう絆が深まったと感じられまし
た。

最後にこの10周年式典に参加い
ただいた皆様には、心からお礼申
し上げます。私事です。2014

年度をもちまして会長職を辞する
ことになりました。この10年間お
力添えをいただき感謝申し上げます。
誠にありがとうございました。
次回は2015年12月5日(土)
6日(日)を予定しております。
多数の方々のご参加をお願い致し
ます。

桜美林大学チアリーディング部
創部25周年記念パーティー

同部顧問 吉岡 桃子(07 大國)

昨年、9月28日(日)、桜美林
大学 町田キャンパス 又賜体育館
にて、桜美林大学チアリーディン
グ部(旧・体育会チアリーダー部)
の創部25周年記念パーティーが行
われました。

当日は、現役部員33名と100
名を超えるチアリーディング部OG
が参加し、久々の大学を懐かしむ
姿や、先生方や仲間との再会に喜
ぶ姿が見られ、会場は大変賑わっ
ていました。

第一部会では、現役部員やOG有
志メンバーによる演技、そして、
ゲストとして、OGが運営している
キッズチーム、出身高校チームに
も演技を披露いただき、創部25周
年を盛大に祝うことができました。

多摩アカデミーヒルズにて行わ
れた、第二部会では、初代の先輩
より、創部の成り行きや当時の様
子をお話いただき、現役選手、OG

一同、部の25年の歴史や、自分た
ちでチームを運営していくという
「学生主体」の伝統の原点を改め
て感じる事ができたと思います。
現在、チアリーディング部は、
大学より多大なる支援をいただ
き、創部当時から比喩的なにな
らないくらい大変良い環境の中、
練習することができています。こ
れも、先輩方の活動の積み重ねが
あったからなのだという事とも、
改めて実感しました。



30周年では、さらに飛躍したチ
ームの姿を見られることを期待
し、OGとして、これからも応援し
ていきたいと思っています。

最後に、25周年記念パーティー
開催にあたり、ご協力いただきま
したOGの皆様には、心より感謝申
し上げます。ありがとうございました。

二〇一五年 世界大会へ
上野喬雄さん(05 高校)

中学3年からテコンドーを始め
たという上野さんは桜美林高校卒
業後専修大学へ進学、大学時代に
は組手で学生チャンピオンになり
2010年韓国での世界選手権に
出場しました。地域の活動にも積
極的に参加されているので皆さん
も町田の「フェスタ町田」や「さ
くらまつり」でも演武を披露して
いる上野さんを見かけたことがあ
るかもしれません。

最近では2013年のオープ
ン・テコンドー世界選手権で団体
優勝、個人準優勝というすばらし
い成績をとっています。今年6月
25・28日にイタリアのリミニで行
われる同大会にも日本代表として
参加する予定です。同窓生として
皆さんもぜひ応援してください。

●随筆・桜美林学園の思い出 創立時代の桜美林と私

川村健爾(桜美林短期大学名誉教授)

(創立45周年史料集より抜粋)

◆安三先生との出会い◆



桜美林学園創立当初の三年間、そして、再び十年後に復職してから三十年間、定年退職するまでお世話になった私にとって、学園は文字通り「古巣」である。

それは、安三先生、郁子先生を通して、教育の楽しさ、厳しさを身をもって教えられたからである。「信仰とは、望んでいる事がらを確認し、まだ見ていない事実を確認することである」という聖書の言葉の真実性と教育者としての使命観が安三先生や郁子先生の日常生活の中に鮮かに浮き出ている。

私と安三先生との日本での出会いは、昭和二十一年五月初旬のことであった。

当時、中国北京から引揚げてきた私は、空襲で東京の家を失っていたので、やむなく、小田原の家の実家に寄寓しながら、毎日、

往復五時間の通勤時間をかけて日比谷のGHQ本部で通訳の業務に従事していた。或る日、帰宅する

と、「北京の清水先生がお待ちです」という嫂の声に、半信半疑でドアを開けると、やはり先生だった。

雇用の条件は、月給一律五百円と宿舍付であった。給与は通訳時代の半分だが、周囲は農村で食料は比較的手容易とのこと。それに肩身の狭い間借暮らしよりましであると思った。

こうして、私は数日後、GHQを辞して安三先生から手渡された地図をたよりに、希望をふくらませて新天地を訪れた。その時初めて存在を知った横浜線というローカル線で淵野辺駅を降りた。見渡すかぎり桑畑がつづき、人家はほとんど見当らなかった。三十分ほど歩くと、こんもりとした森と目じるしのノッポ煙突が現われた。「この学校はごらんの通り無からの出発だ。何もかも、自分の工夫と創造が必要である。教員の宿舍は二階の部分で、自分で好きな所を選び、住めるようにしなさい」とのことだった。窓ガラスや畳もないのにはいささか戸惑いもあったが、とにかく零からの出発であるので我慢するしかない。一棟目の中央の空室を住居とさだめ、家族三人が雨露を凌ぐ生活をはじめたのは一週間後であった。キャンブル生活のような不便さもあったが、

が、毎日が新しい創造の楽しさに満ちていた。

◆創立時代の授業◆

生徒は高等女学校、新制中学校、新制高等学校、高等女学校専攻科併せて二百数十名であった。主として附近の農家の子女が町田市、相模原地区から来ていた。

私は英文専攻科主任と中学校一年のクラス担任を兼ね、聖書と英語を担当した。家内は全学年の音楽を教えることになった。

英文専攻科には七名の女子学生がいたが、その年の秋には、中野にあった英語専門学校から男女十数名の大量転校生があり、異色の共学校になった。

初代の教職員は中国、台湾、朝鮮などからの引揚者であったため、衣類や生活必需品は不足がちであった。時計などを持つている者は限られていたし、学校にも正確に時を告げる機械はなかった。たしか郁子先生が時計をもっており、鐘を鳴らす役をつとめておられた。

天気の良い日は八幡神社裏の松林で勉強したり、英語のヒヤリング実習として、お弁当をもって銀座まで一日がかりで、洋画鑑賞にでかけたことも楽しい思い出である。

中学生たちも無邪気な人なつこく、とても協力的であった。彼らは自分達の学校づくりに誇りを

もっていた。体育の時間は、ほとんど運動場づくりに費やされた。彼らは自宅から鍬やシャベルなどを持参して登校し、地面を平にし、雑草をとり、今日の高校野球部のグラウンドの基礎をつくったのである。

安三先生は授業では好んで「イソップ物語」を教え、またアメリカ建国のバイオニア・スピリットについても教えられた。これは、日本の復興に必要なことは世代を超えて、「機智」と「夢」と「創造の精神」であることを教えたかったからであると思う。安三先生の教育への情熱と信仰と祈りは教職員や全生徒に、大きな希望と喜びを与え、物不足の時代にかえって充実した勉学の時をもつことができた。

「If there is a will, there is a way」この時ほど、この諺の意味を如実に味わったことはない。安三先生はこのwillをprayerに変え、「If there is a prayer, there is a way」とどんな時でも祈りが道を開くことを体験的に証しされた。

◆安三先生の大きな夢◆

昭和二十二年一月、私の家では長女が誕生したので、「のぞみ」と命名した。これは、当時の学園の合言葉「せんかたつきれども、のぞみを失わず」という聖句からつけた。母乳が不十分だったので

乳牛を飼っていた農家出の生徒に牛乳の配達を頼んだところ、翌日、一頭の山羊をつれて登校し、「毎日運ぶのは大変だから、これをもってゆけ。半年位は乳がでるからとお父さんに言われた」といって、ついでに餌のやり方や乳のしぼり方を教えてくれた。さっそく、校舎の裏手の雑草地で飼うことにした。この生徒の親の好意で無料で山羊に母乳の代りをつとめていたのだ。

安三先生の大きな夢と先を見通す眼力と行動力と、教育への熱情が信仰の中に融合した結果が、今日の桜美林学園の姿になったといえる。

川村健爾先生追悼文

斎藤 栄子 (48 中学)

神様が出合わせて下さった恩師、川村健爾先生が去る1月28日御年102歳で天に凱旋されました。遡る事69年前、桜美林高等学校1年生の担任で英語を教えていただきました。あるとき英語の弁論大会が催された時のことで。先生は私を荣ちゃんと呼ばれておりました。「誰が風を見たでしょう」という詩を英語で教えるから暗記してみと、ご指導下さいました。いまでも鮮明に覚えております。当時健爾先生ご家族4人は校舎が5棟ある1棟目の2階

に、最悪の環境の中でのお住まいでした。電気は点くものの、水は1階の外の井戸水をバケツで運び上げながらの日々で生徒たちが交代で運びました。ある日、美術の佐藤文男先生と健爾先生おふたりが上野に映画を観に連れて行ったださいました。敗戦後の街はバラック小屋が殆どでしたが、映画館はそれなりの館で、上映作品は「オーケストラの少女」何年ぶりの映画と、帰路お汁粉をごちそうになりました。そうしてくださったのは両親がすでに他界、親戚に預けられる身を案じられ両先生はお給料もぎりぎりの中で、神の愛をお示しくくださったのです。秋の季節には先生を先頭に数名の級友と柚木村に栗拾いに、その地から通学している友の案内で楽しい時でした。まもなく先生ご一家は和歌山の田辺へ、牧師として10年余奉職され再び学園に復職された事を知りました。その頃私は子育て真最中、しばらく級友達と逢うことも途絶えておりましたが、何時とはなくまた川村先生ご夫妻と交流が始まり、私たちはお食事会、1泊旅行などいたしました。

訪問した朝陽中学校、熱烈歓迎の横断幕を見た時、安三先生の偉業さを改めて思わされました。健爾先生は牧師ですから教え子のなかからイエス・キリストを信じる者が与えられるように、常に祈っておられたことでしょう。私の頑なな心がやがて解き放たれ、洗礼へと導かれました。静子先生が大変喜んでくださりお会いする度、手を握られ感謝ねと微笑まれるお顔が忘れられません。私の長女が米国に留学中、神学校在学中の青年と知り合い後に結婚、町田で開拓伝道を望んでいることを聞かされ、自宅が破格の値段3億円で売却でき、所有していた成瀬の雑木林を整地、3階建延べ250坪の教会堂を建立、献納しました。まさに神の奇跡を体験したのです。献堂式には教団は違いますが、健爾先生お出くださり、祝辞を述べてくださいましたこと感謝です。先日写真の整理するなかで学園創立者清水安三先生と原町田の父兄、友人等我家にお招きしたときの数枚を眺めているうち、幻、夢は大きくと常に語っておられた安三先生のお声が響いてまいりました。3月で私は81歳になります。長男は桜美林中、高、大学、孫は4月大学3年生、三世代オペリンナです。私たち夫婦は日本国際ギデオン協会のメンバーで毎年母校の高校、大学に聖書贈呈にまい

ります。今はいつ地上を去っても惜しくない年齢になりました。いつの日か天にて安三先生、郁子先生、川村先生ご夫妻に再会できる楽しみがあります。希望を持って残る人生を歩んでまいります。川村健爾先生永年のご指導ありがとうございました。

川村健爾先生102才の軌跡

1912年（明治45年）12月2日 東京赤坂に生れる
1923年（大正12年）関東大震災後 早稲田中学入学 中学3年の時洗礼を受けてクリスチャンになる
1938年（昭和13年）3月日本神学校（現東京神学大学）卒業
1941年（昭和16年）3月静子さんと結婚
4月清水安三先生を慕って北京に辿き北京市東華教会牧師となる。
1945年（昭和20年）8月終戦帰国、外務省で通訳の仕事に就く
1946年（昭和21年）5月清水安三先生と再会 桜美林高等学校教諭
1948年（昭和23年）8月和歌山県下でキリスト教伝道活動
1959年（昭和34年）桜美林高校教諭に復職 桜美林教会担任牧師
1964年（昭和39年）桜美林短

大講師 助教授 教授 英文科
科長 桜美林学園長
2004年（平成16年）退任
2015年（平成27年）1月28日 召天
御遺族 川村崇（故人）岡村のぞみ

感謝の誌代

100,000円（故川村健爾先生）
50,000円 岡村のぞみ
26,810円 67年度高校同窓会
12,100円 時田 宝文

特別会費御協力について

同窓会規約により、卒業後十年経った同窓生に一口五千円の特別会費のご協力をお願いしております。それにともない「同窓会だより」では納入頂いた方の氏名を掲載しております。特別会費は同窓会運営の大切な財源になっております。未納の方、これから該当される方、皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。

特別会費御協力者一覧

倉品 恵 03大英
原田 由利子 83短英
上野 洋 83高校
山田 隆 83大経
本田 恵美子 81短英
堀 正枝 03大英
福島 晶子 03大健
車 克成 83高校
関 信生 93高校

※ 訃報

黒田 露子 83短家
奈良 祐子 93短生
横山 望 03大健
土方 正彦 83大商
国方 祥 03大ビ
三宅 孝治 83高校
氏原 栄 83大中
高山 秀樹 93大商

川村 健爾 先生 15・01
中島 直忠 先生 14
高野 操枝 69短家
辻 洋美（前田） 79短英12・03
上条貢子（飯田） 52高校11・09
原田 美弘 77大商
川合 孝義 62短英14・08
杉山よし江 76短英
原田 泰男 60高校14・02
佐藤 宏 49中学08
伊藤美栄子 74短英12
渋谷京一（佐藤） 74大英96
市川 憲典 70高校14・11
小倉淳子（谷） 72短英13
瀬沼 晴美 73高校
町田葉子（内藤） 70短英14・11
石田恵子（斉藤） 50中学14・10
三枝 裕美 84短英13・11
鳴 義男 77大経14・01
堀田郁美（随木） 81大中15・01
佐原 正夫 54高校13・05
塩野玲子（小寺） 76高校15・02
結 婚 しました
須田 俊也 11リベラルアーツ
本田 鈴菜 11リベラルアーツ
掲載ご希望の方がおられましたら、その旨お知らせ下さい。

は10度も気温の違う沖縄の夜、熱く語り合う半袖姿のオビリンナーたちでした。



はもちろん、石垣島などから船で参加された同窓生もあり、年に一度の集まりを待ちわびた顔が揃いました。

「今後とも沖縄らしい支部会を開催していきたい」と新城支部長。11月半ばとは言え東京と



沖縄支部は2003年11月に発会して以来毎年休むことなく懇親会を開催し、今回で12回目を数えます。すっかりおなじみとなった会場の一鮮満おもしろまち店には、本島

沖縄支部



2014.11.15

広げよう

オビリンナーの輪

2014年11月～
2015年5月
支部会開催報告



参加者の皆さんからひと言メッセージをいただきました！

初めて参加しました。楽しかったです。また来年参加します。(83 短英 谷久知真由美)

樺の広場が懐かしいです。(83 大経 近藤保之)

英文科卒が中国と沖縄を結ぶ仕事をしています。政治と経済は別物。(89 大英 東浜正晴)

真鶴の熊本(旧姓)美香さん、お元気ですか？

伊豆北川に転勤で行っておりました。(87 大経 金城仁之)

一人でも多くの方が参加できる方法はないでしょうか。
若い方の参加を待っています。(58 短家 野里千恵子)



山梨支部懇親会は宮沢支部長の尽力と幹事の方々の協力で、今回で9回目となりました。会場はいよいよ10回目を迎える来年の開催に向け、更に支部活動に力を入れようという声が上がりました。

南アルプスの山々や富士山が雪化粧をした12月7日、甲府市内古名屋ホテルにて山梨支部懇親会が開催されました。

今年の参加者は14名。懇親会では、学生時代や安三先生の思い出、そして今の桜美林学園の様子など話題が尽きることなく、同じ学園で学んだ仲間同士の絆を確かめ合う様子が伺えました。

山梨支部

2014.12.07



甲府、古名屋ホテルにて、第9回山梨リ・ユニオンを開催致しました。約2時間程の短い時間でしたが、世代を超え在学当時の思い出話や近況報告など、充実したひと時を過ごすことができました。

また、お忙しい中ご参加頂いた大越中学・高校校長先生からも、現在の学園の様子や、現役の学生達の活動内容などを紹介して頂き、後輩達の活躍に出席者一同応援のエールを送りました。

今回は第10回目を迎え節目の年となりますので、更に多くの方々の参加をお待ちしております。

支部長 宮沢勇二(83大商)

群馬支部



2015.01.31

群馬県を象徴する赤城山の雄姿が迎えてくれる瀟洒なエントランス、榛名や子持の山々を眺め眼下に坂東太郎利根の流れを見下ろす風花舞う天然温泉の大露天風呂、今年も元気に、恒例の会場「ヘルシーパル赤城」での「第13回群馬リ・ユニオン」に参加することができ、桜美林学園の同窓生であることに誇りと喜びを噛み締めることができました。

今年度は、学園より佐藤理事長をはじめ多くのご来賓をお迎えし、群馬県外の同窓生も多数参加して、例年以上の盛大な会になりました。今年度末で学園の卒業生が10万人を超えるということ、卒業生の多方面での快挙、そして現役桜美林生の活躍等々、二次会三次会と時を忘れて会話の花が咲き乱れました。

温泉大国群馬県は、海以外は何でもあります。県内はもちろん、県外の仲間も満足させる「群馬リ・ユニオン」で、みなさん一緒に桜美林の花を咲かせましょう。

結城 茂 (76大中)

参加者の皆さんからひと言メッセージをいただきました！

櫛の広場で歌ったり、語ったりしたことをよく思い出します。

(87 大中 タクヤ)

楽しかったー!! この時ばかりは青春にもどれます♡ (77 大中 ユッコ)

初めて来たヘルシーパル赤城。ロケーションも温泉も最高でした。

来年も是非参加したいです。プールもあるので水着持参で!! (74 短家 敦子)

日々の雑務から逃れ、群馬、赤城にて宴会、カラオケ、温泉・・・と大いに発散させていただきました。

楽しかった!! ありがとうございます。(78 大英 マッキー)

桜美林大学の箱根駅伝出場心待ちにしております。2015年、一市民ランナーとして東京マラソンに初出場します!

マラソン仲間として期待しておりますよ!! (79 大英 大槻政之)

なぜ集まらぬ若い同窓生? どの支部も同じか? このまあいったら桜美林〇〇支部老人会になってしまう。

(73 大経 福田一男)



今年は弓道部 45 周年です。(84 大経 河野幸雄)

めでたく 50 歳になりました。皆元気かな? 会いたいです。(86 大英最首)

甲子園でまた応援したい (*^_^*) (92 大商 えりりん)

毎年、同窓会楽しみにしています。(04 大B 石井秀和)

高校の教員として毎日悪戦苦闘の日々を送っています。受験勉強を頑張る生徒達を見て、あの頃の自分を思い出しています。(85 大中 松本)

私の会社(東京ラヂエーター製造)も私を含め 4 人の卒業生が活躍しています! もっと増やして桜美林卒で盛り上げていきます! (86 大経 岡野秀之)

今はなくなってしまった短大卒の私。初参加でしたが、とっても楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。(83 短英 稲垣香)

第 13 回 千葉リ・ユニオンおめでとうございます。

横浜リ・ユニオンも宜しくお願いします。(84 大商 芳賀成人)

建て替えたばかりの桜寮に入寮しました。10 時の門限に苦しめられました。(84 短家 河野瑞恵)

太平館のチキンカレーのおばさん、いつも大盛りにしてくれてありがとうございました。(00 大B 河野秀一朗)

軟式テニス(一応体育会だったのですヨ)

まじめに 4 年間やってみました。(80 大経 クメ)

第13回千葉リ・ユニオンが開催されました。参加者48名。今回は初めて参加された方も多く、現役の少林寺拳法部の学生の参加もあり、オビリンナーの輪は確実に広がっています。「今後も積極的に活動を広げていきたい」と熱く語る伊東支部長のもと、若さ溢れる活気のある会となりました。

千葉支部



2015.02.07



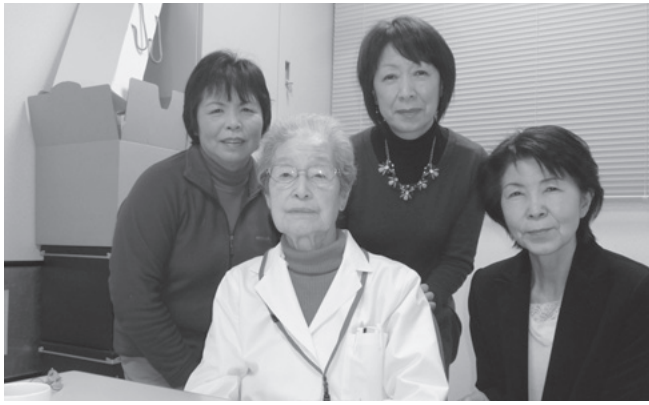
「秦野の 梅ちゃん先生」



昨年、同窓会事務局に一通のはがきをいただきました。

「桜美林創設時より安三先生と仕事をし、現在97歳でともかく現役で仕事をしています。」

「中略」色々話はつきませんが取り急ぎまだ生きている報告です。」はがきを送ってくださいと、神奈川県秦野病院理事長高橋幸枝さんの病院へ先日広報委員がお伺いし当時の思い出をお聞きしてきました。



安三先生との出会い

わたし実はねえ中国の青島の海軍省に勤めていたんですよ。で、

あの頃日本の勢力が強くていい生活も出来ていたの。そしたら、教会へね安三先生が北京から招かれて青島の教会に結婚式なんかで講演なさったことがあったんですよ。それでねえ、あの先生話上手いでしょ？私感激しちゃって、それでもう、そういう仕事は是非したいという訳で安三先生をお願いしたんですよ。そしたら安三先生あなたみたいなお嬢さんにはとても、ほらまだ若い頃だったから、そう言われて断られたんですよ。でもどうしてもねえ、何回もお願ひしたら、そんなに言うんならいらつしやいと。それで北京の崇貞学園に行ったんですよ。

安三先生と郁子先生は車の両輪

安三先生は皆さん知ってらつしやるように、あの、大風呂敷広げちゃうじゃないですか。そうするとねえ、その始末はいつでも郁子先生がなさったの。郁子先生は学者だからねえ。人付き合いはあまり良くない、そんなに、にこにこ話はない。私も郁子先生よく知ってるけど、先生のお仕事もしてたから、だけど笑ったり話したりすることがない人よね。お茶の水のほら、教育学の人だから。雑談したり、みんなと楽しくなんて人じゃなかった。私一回もないもの。偉い人だから。そういう世界にいた人だから。それもやっぱり安三先生に感激してわざわざ北京まで

おいでになって結婚されたのじゃない？

きっかけは安三先生のひと言

その当時私は先生の資格は持っていないですよ。でね、私が一所懸命やるもんだから、まあ、清水夫妻の秘書みたいな形で。秘書ってつたって雑用よ、身の回りの世話したり。それで先生と一緒によく学校とそれからあの「医療の慈善」「愛隣館」やってましたでしょ。そこへ先生と一緒に رفتんですよ。それからひとつ、作業場っていうか、要するにあの頃は貧しい女の人たちには売春以外に仕事を与えない、そういう人たちに仕事を与えること、それから貧しい人に医療をしてあげること、それと教育と三つが柱だったわけですよ。私が先生と「愛隣館」というところの医療をやっている、きつたない人たちがいっぱい来るんだけれども、でもいい仕事だなと私は思ったわけ。でね、医者がなかなか無いんですよ。で、先生に「どうしてこんないい仕事なのに人來ないんでしょうね？」って言うたら、安三先生が「安いから人來てくれないんだよ、金出さないからだ。」ってこう先生おっしゃったの。「ああそうですか。」と言ったら先生が、「あーた、医者になりなさい。」って言われたのよ。私はねえ、突然だったから考えてもみなかったからね。それからだ



いぶ経ってからでしたよ。そんなにねえ、いい仕事なのにやれる人がないなら、出来ることならやってみようかなって。その頃私学校出てから10年も経ってましたのよ。26歳か27歳くらいの時に。そしてそしたら「あんたやったらいいよ」って。したら郁子先生が「高橋さんいなくなったら困るじゃないの。あんたどうするのよ。」って喧嘩。(笑) そう、雑用係に抜けれちゃうと。つまらない雑用をする人がいないわけですから。でも、「あんたやったらいいよ。」っていうからやろうと思ったんだけど、だからねえ、私先生は恩人だと思ってるんです。先生のすすめがなければ医者になんてならなかった。※そして高橋先生は日本へ帰国され勉強のちに福島医大へ入学されます。

仕事とは

自分で見つけて動き出すこと

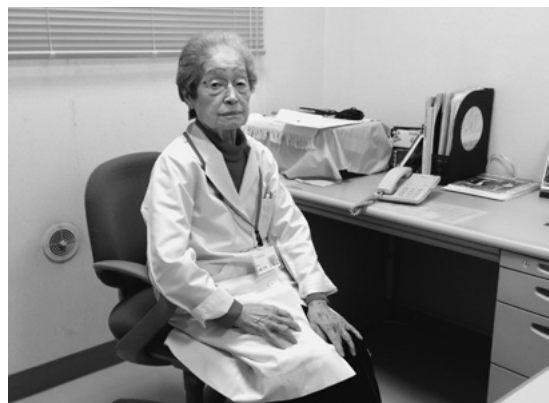
「桜美林での診療所は古い校舎のお玄関入ってすぐ右側くらいにあったとお聞きしました」

それがねえ、クリニックは28年からなんですよ。あの「来い来い来い来い」って、上越市の県立病院の内科でインターをやっていたころに、安三先生があんまりおっしゃるのに断るわけにいかずに、まあ、来たわけですよ。で、来たら「あんたここでおやんなさい」って言ったのが工場跡。下駄箱のほりりだらけのところ、住むのは小遣い部屋でした。それで、毎日遅くまで掃除して片付けて、そして先生お金出してくれないの。あの先生はね、そういう人よ。仕事をするのはね、自分でやるんだ。人に出してもらおうじゃ仕事じゃないって。そういう信念持ってたつしやるの。それから、まあしょうがないからいろんなことを考えてやりましたよ。で、出来ること無いかと思って、顕微鏡があるからじゃ検便をしようといつて、生徒全体にたしか一回10円くらいでみんなに検便、毎日。そして、少しはお金入るわね、それでお薬出してあげて、それがスタートでした私の診療所の。それで私が一生懸命やって診療所が何とかまわってきたら、今度先生また風呂敷広げて、「オペリンに医学部

作ろうよ」っておっしゃったの。「あなたは成功した！」っていつも先生言ってた。成功じゃないのよ、努力したの。それで、先生もうオベリンの医学部医学部って始まったんですよ。そして、私は医者としては臨床の診療と学校経営とはちよつと違うと思ったわけ。まあだいたい考えたけど私はそんな医学部を作るような能力はないし、あの学問的にもそんな充分勉強してませんのね。まあとて来ないと思うって先生とよく話しあって、私はやっぱり臨床医として生きていきたいと。まああの先生とオベリンと別れて中央林間に新しく開業したわけです。先生は30年の時だと思いましたね。先生はそう言うけど別にどうこうって言うてる訳じゃなくて「ああ、あんた。そうすればいいよ」って、いう訳ね。

—ご専門は精神科ですね

あのね、最初はね、内科と小児科やってたんです。それでそれからまあ精神科というのにもちよつと興味があったもんですから、少し慶応で勉強したり。それで、少しと思ったのがだんだん入り込んで、今ではもう精神科専門で。何でも同じだけれどもやっぱり病気っていうのは必ず精神的な問題が多いでしょ。痛いつていっても頭の中に異常があるか、あるいは、



異常がないのに痛いというような何かが痛いというような問題を抱えているか、そういうのが案外多いのよね。だから内科にしても整形外科にしてもあつちが痛いだのどうだのこうだのと言うけども、それは傷的なものとそうでなくって、人に言えない苦しいこととか悲しいこととかいろんな問題があるでしょう。そういうのを見つけて、今考えるところが精神科のひとつの仕事であるんです。そして、今考えると精神科っていうのはあんまり若い先生にはちよつとわからない。ある程度ね、経験して。いろいろな積み重ねを持ってもらえる先生の方が。そうそう、理解できるという。で、精神科を専門にやるようになって良かったなって、今、思ってますけどね。

心を込めて祈ること、

素直に願うこと

先生がリュック一つで引き上げてこられたときにね、お訪ねしたんですよ。その時にね、先生が休んでらしたのは、あのね、普通のうちの押し入れに二段になっていて、そこへ私伺ったことがあるの。そして、まあ、学校を開くとゆうことで。そしてね、その時に学校をあれよ小学校じゃないね中学から作られたの一等先に。それも生徒募集の手紙を出すのに私先生と一緒に歩いたことがあるの。で、それはね「わしはなあ、あの、この一枚のはがきを募集出す時にはポストの前でお祈りして出すんだよってね。それを一緒にね、歩いたことがあるんですよ。そうしてあれだけ大きくなつちやたの。

—生徒募集のチラシを貼るとね、必ずそこに立ってそれを見るふうにして他の人にみてもらうっていうことを良く安三先生おっしゃってました。だから本当に心を込めてこのチラシ一枚みんなにみてもらえるように

そうですね。はがきをポストに出す時も、それは人に見てもらわんじやなくて神様にお祈りしたんだと思うよ、私もあるわね、なかなか出来ないことだとたいしたもんだっていつも感心して一緒に歩いたことあるんですよ。

204名でスタートした学校が、それこそリュック一つで。これはねえもう安三先生が風呂敷広げたけど郁子先生が毎日ねえ文部省行くとかね、その許可を得に。

—郁子先生はそういうことで涉外といいますが、外回りでお役所関係とかそういうことをなさっておられたのですね

毎日のようにそういうことで役所あるいていられましたよ。うん、それは私ね、みてましたよ。で、安三先生はね生徒さんやなにかと話したり、愉快に。素晴らしいアイデアっていうか風呂敷つていうか広げるのはうまいですよ。それをまとめたのは郁子先生だと思う。

世界のどこかで

いい仕事をしてくれればいい

—崇貞はかなりの数の学生さんがおられたんですか

高校生は、あれはねえ、韓国人だったかしら。先生は国際的に考えているから、中国人だ韓国人じゃないの。先生は中国のいい子ども達を日本へ留学させて、帰ってくるとね、崇貞へ戻らないの。ほか行っちゃうことあるんです。「先生、つまらないですねえ」って言うといや、どこか世界のどこかいい仕事をするよ大丈夫だよ」と。そんな言い方してましたね。まあ、結構な費用を出してね、日本へ留学させて、ほか行っちゃ

うんですよ。それでも、でも安三先生はそのことにとがめ立てをするわけではなく、「うん世界のどこかいい仕事をすると思うよ。」ってというような言い方でね、うらまなかつたですね、やっぱりクリスチャンでいらしたから。

高橋先生は、現在も現役の精神科医として現場でご活躍されています。NHKの朝のドラマの「梅ちゃん先生」のエンドロールにもご出演されました。

「先生はなにか新しいことがあるとまず“どういう風になるかはわからないけれど、やってみたら?”と背中を押してくださいます。先生はわたくしたち職員のお手本です。」と病院事務長はお話しくださしました。私たちも元氣と勇気をたくさんいただきました。高橋幸枝先生、どうぞこれからもお元氣でご活躍ください。



絵・高橋幸枝

桜五一会

B組 石川 桂(80大経)

平成18年11月に高校卒業30周年を迎えたので、第1回の同期会を開催して、それから4年ごとに開催して来ましたが桜五一会も第3回目を迎えて今回は、先生方が7名、同級生が117名の参加があり、午後1時から校内見学ツアー、午後2時から桜カフェにて1次会がスタート、木村牧師に最初に礼拝をお願いし、高校時代のチャペルでの礼拝を思い出しました。

クラス別の一人一人の近況報告や高校時代の顔写真と今の顔を見比べると大きく変化した人や昔と変わっていない人もあり、同窓会でしか味わえない懐かしさから皆が、笑顔いっぱい話している雰囲気、格別な楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

2次会は、午後5時20分から桜カフェ奥の会場で80名の参加で、今度は自宅住所別にテーブルを分けて新たなコミュニケーションのきっかけ作りになればと思います。スタートしました。午後7時20分まであつという間の時間であったと思います。

次回、第4回は、4年後皆が還暦のお祝いと一緒にやることになるので、さらに参加者も雰囲気もヒートアップすることでしょう！4年後の皆さんとの再会を楽しみにしています。

にしています。楽しい同窓会でした。ありがとうございました。



当時のH組担任 藤井知子先生
「H組の皆様お元気でしょうか。」

私は茨城に移って35年、その間高校講師をしました。今はスポーツクラブに通ったり孫サポートの依頼が来ると出かけたり、気ままに過ごしています。

私にとって桜美林高校で担任をさせて頂いた思い出は、何にも代えがたい宝物です。修学旅行、合

唱コンクール、野球応援等、沢山ありますね。数学の授業も厳しかった？

今は色々と社会問題もあり、複雑な世の中になっています。その中で皆様は職場の中心、家庭の中心として頑張っておられることでしょう。同窓会とは自然にその時代にタイムスリップして、素な自分であられる場所だと思います。皆様たまには肩の力を抜いて楽しみましょう。幹事の野原さんが頑張ってくれています。沢山の方にお会いできることを楽しみにしております。」

1971年高校同窓会

川崎 秀憲(71高校)

2014年5月10日に前年の還暦同窓会と同じ町田の徳樹庵で先生方、同窓生47名で同窓会を開催いたしました。

前年の還暦同窓会は100名に近い出席者であったのに比べると半分になりましたが、その代わり前年は欠席だった5名が参加となりました。

また前年に続きA組江上(山田)太枝先生、G組近藤幸先生の出席をいただき大変盛り上がった会となりました。皆が再会を喜び、あの桜美林高校で同じ時代同じ空の下で生きてきた、そして今を生きていることに感謝して1次会、2次会、3次会まで交流を深めました。



た。

また当日の写真をまとめたDVDを作り出席者の皆に配りました。いつまで続くかわかりませんが、取りあえず70才の古希を目指して毎年の同窓会開催を続けていきます。一部の出席者から来年は桜美林の伊豆の施設に一泊旅行をしたいとの希望も出ており目下企画検討中です。以上

為田英一郎先生 喜寿ゼミ

喜寿ゼミ幹事会 山根雄三

2014年11月3日(文化の日)、アルカディア市ヶ谷 私学会館にて「桜美林大学 為田英一郎先生 喜寿ゼミ」を開催いたしました。この会では、コア教育センター長・文学部英語英米文学科教

授として活躍され、2007年に退任された為田英一郎先生の喜寿をお祝いするとともに、1期から6期までのゼミ生と自主ゼミ「ためだぐみ」にて学んだ卒業生が集って、校外ゼミを行いました。為田ゼミ生のうち約半数が集まり、この会のために海外から一時帰国をされた方、パートナーと子供たちとともに参加くださった方もいらつしました。

為田先生は60分間の講義を行われ、当時を振り返るだけではなく「過去は助走期間にすぎない。大切なのは今なのだ」と力強いメッセージを発信されました。会の中



では、為田ゼミの卒業生であり現在にはジャズギタリストとして活動されている高免信喜さんの演奏や、「この際だから聞いてしまおう!」と企画された為田先生へのインタビューコーナーなどの催しも行われました。

ご来賓として参加してください。た安彦道代先生、石郷岡幸男先生、今村護先生、神谷満男先生、神山伸夫先生、玉井道先生、中村邦之先生、米山郁夫先生、ご来賓でありながら会場での撮影をお引き受けくださった中山市太郎先生、また、卒業生の所在照会やウェブサイトでの告知掲載をはじめ、ご尽力を賜った桜美林学園同窓会の皆さまに、この場をお借りして深く御礼を申し上げます。

高校ラグビー部

野中庸旦先生の
73歳をお祝いする会

丸山 麻貴緒 (93高校)

昨年11月29日(土)立川「良銀」にてラグビー部恩師野中庸旦先生の73歳をお祝いする会を開催しました。92年度卒の木村(豪)さんが発起人となり、OB会66年度卒原さん以下、主に91年度から93年度のメンバーを中心に14名が集まりました。

野中先生の挨拶からはじまり、それぞれの近況を報告したり、当

A group of 14 people, mostly men, are posing for a group photo. They are arranged in two rows. The front row consists of five people seated at a table covered with a black tablecloth. The table is set with various dishes, including what appears to be sushi or small plates, and several glasses. Two men in the front row are holding round cakes with white frosting and red decorations. The back row consists of nine people standing behind the seated group. The setting appears to be an indoor space, possibly a restaurant or a banquet hall, with a large framed picture on the wall behind them. The overall atmosphere is celebratory.

時の試合の様子を振り返ったりと、話は尽きずあつという間の3時間が過ぎました。

卒業して20年経ちますが、今でも野中先生を前にすると当時のご指導いただいた記憶が蘇り、一瞬にして背筋が伸びる思いになります。

野中先生も、在職時代と変わらずお元氣のご様子で、町内会の副会長として活動なされたり、週2日のグラウンド・ゴルフをされたり、お忙しく充実した日々を送られていたようでした。

私たち91年から93年世代もいよいよアラフォーに突入し、仕事に家庭と忙しい日々を送っておりますが、また近いうちに、みんな元気に野中先生と一献傾ける日を楽しみにしたいと思います。

42年度高校同窓会

B組小池純子(67高校)

前回還暦同窓会からはや5年、前期高齢者の集いとなってしまいました。先生方も3名ご参加いただきましたみなお若く変わっておられないのに驚きです。数10年ぶりに参加した学友は大きく変わった学校に驚きの声、道路の脇にあった田んぼはグラウンドに、私たちの学んだ校舎は小さく、多くの校舎が増えチャペルも綺麗になっている、これが卒業した学校？



一九五五年度卒業中学同窓会

会場では懐かしい顔に笑顔がとびかい話はずむ。でも誰だかわからない顔があり名札を見て（エエー！）と、その変わりように驚くがすぐに面影を見つけ話したす。飲んで食べて話して2、3時間、瞬間に過ぎ、最後に応援団のエールに合わせ校歌を歌う。

イエス、イエス、イエスと！そのころには涙が出てくる、楽しかった、また会おう、その時までみな元気でと！

たくさんのご参加ありがとうございました。

参加者一同（一部58高校）

卒業後59年目の昨年4月、2泊3日の四国旅行という形で、再開後二回目の同窓会を行いました。

5年前古希の祝いを学園でして頂いた時決め、2年後再開第一回を、安三先生、郁子先生はじめ諸先生のお墓参り（相模メモリアルパーク）を兼ねて行いました。

その際、四国の田中誠夫から「昔、幹事に選ばれたが、引つ越してそのまま」との話が出、一度遠出をとの意見もあり、彼を幹事に実施が決まりました。

準備は、手紙・電話に、幹事開設の「友達共同ブログ」も活用し、格安ツアーを利用、一部積立もしました。

福岡の権藤（旧土井）富佐子と、

東京から幹事の稲葉節子他小島
(旧前田) 慈子、伊賀(旧藤井)
節子、吉村一世、藤島昇、岸間正
(文責) が参加。

羽田発着ツアーの四国内移動のバスと、現地二人が乗る車（バスから交代で便乗）で、鳴戸海峡、金刀比羅宮他を回り道後温泉泊（宿泊ホテルにて全員で会食二泊共）、二日目は内子、四万十川沈下橋他を見物し高知泊、最終日は桂浜、大歩危峡他を巡ってきました。

準備から度々話し合い、ツア
相客から「皆ご夫婦ですか？ 仲の
良いこと」と言われたり、ホテル
の金庫に携帯をいれ、ないない大
騒ぎして大笑い等、楽しい会でし
た。同期34人、連絡がつく20人
の8人の集りでした。

清水安三先生中国足跡第一步 瀋陽教会時代



「人その友のために己の生命を棄てる、
之より大なる愛はなし」

(ヨハネ伝 15 章 13 節)

清水安三先生愛唱聖句

前号(一九二号)で大正時代にお書きになった清水安三先生の論説を載せましたが、今回は先生が始めて中国大陸に足を踏み入れた記録をお知らせすることにします。当時、今日の中国東北部は満州と言つて、日清・日露戦争勝利の代償として、日本が統治を恣にしており、日本のキリスト教会もそれに乗じて所謂満州伝道を盛に進めていました。清水安三先生も満州伝道の一翼を担って瀋陽の教会に赴任しました。(写真)その牧会の記録を「基督教世界」から見て参りましょう。尚当時瀋陽は奉天、中国は支那と呼ばれていましたのでそのまま記します。又、旧漢字旧假名使いは新漢字新假名使いに改めました。(小林茂 51高)

「基督教世界」大正六年(1917)七月五日

六月九日、旅順を視て(前日大連着の清水安三氏と途中に出会い)大連に帰着し、



十日の日曜は大連教会にて数回の集會に臨めり。……当日朝礼拝来會者六十余名、夕三十余名、清水氏これに當られる。……翌十一日予は清水氏を伴いて沿線各地の巡訪に旅立てり。……十三日は……奉天日基會堂に於ける海老名(彈正)牧師説教後、清水氏は山口日基(教會)牧師によりて約二百の會衆に紹介せらる。

奉天に於ける一日(十四日)は海老名、渡瀬(主一郎)兩牧師と行動を供にして尤も多忙なりき。……いづれの処にても我組合教會の満州伝道開始を述べ、第一の伝道者たる清水安三氏を紹介し、諸氏の歓迎を受けた。同夕満鉄クラブにて、渡瀬、海老名兩牧師の講演ありし節にも……清水氏は約三百名の來會者に紹介せられたりき。奉天に於ける我組合教會の伝道は、赤十字社病院院長小川勇氏他を……中心として開始することとなり。主任伝道者たる清水安三氏は、小川院長の宿舎に寄寓して、専ら諸準備に當られつつあり。

「基督教世界」大正六年(1917)八月二日 日本組合瀋陽教會

七月二十二日午後三時、教會堂に於て、支那伝道を主とせる伝道開始式を挙行せ

り。……清水安三氏は來賓姉妹に從來の恩顧を感謝し、將來の指導応援を乞ひ、特に、当地日基教會の厚意感激に不堪と述べ、更に教會員には一家族の睦じき一団となり、日支伝道の大使命を全うせむ爲めに結束を堅うして、二人前の活動をせられむことを望みたり。……來會者三十名、祝電祝文多かりき。

因みに當教會定期集會左の如し。

日曜日

午前八時—九時

支那人日曜學校

午前九時—十時

日本人日曜學校

午前十時—十一時半

日本人礼拝

正午十二時—一時半

支那人礼拝

午後八時半

(通訊付)
聖書研究懇話會

金曜日祈禱會は家庭廻りと決定せり。

「基督教世界」大正六年(1917)八月十六日 奉天瀋陽教會

第一回目の聖日を七月二十九日に迎え、組合教會支那人伝道の永遠に記念すべき聖日であつた。当日正午より清水安三氏は九名の支那人學生及青年紳士に、李德權氏の通訳を以て説教し、「余は基督教が、支那民族の風俗、教育、宗教の缺陷を補ひ、之を破壊するに非して成就するものである。而して諸君は那蘇教によりて、個人の自覺を根本的に得て、民主國の宝を完うせられんことを望む」云々と述べた。当日邦人礼拝は十六名(求道者十名)夕懇話會八名であつた。日曜學校は邦人生徒三十六名あり、又支那人日曜學校には生徒二十名餘、……奉天人士、求道の志旺盛にして、當教會を歓迎するもの多し。信徒各自炎暑を冒して、

訪問伝道し、或は支那讚美歌を練習、後日に備えつつあるの状勢である。(教會報)

「基督教世界」大正六年(1917)八月三日 瀋陽基督教會

邦人清水安三氏の住する所、八月五日正午の礼拝には支那人十七名來會し支那人信者祈禱し、李(德權)氏の通訳にて「天国在裏頭」と題して説教せり。……午前十時より開催せる邦人礼拝は十七名の來會者あり、「先覺者の孤独」と題して清水安三氏説教せり。……当地大陸日々新聞社は清水氏を招きて社員講話會を開催せむとしつつあり。教會の發展頗る有望なりと。

「基督教世界」大正七年(1918)五月一六日 奉天

大連の磯部(敏郎)牧師と相携えて奉天に着し、清水教師を始め有志諸兄に迎えられ、……家庭集會に臨み、清水教師司會の許に磯部牧師と予と各一場の話をなした。來會せらるる兄弟二十餘名、孰れも奉天新市街に於る代表的の方々であつた。

二十一日朝礼拝 來會者約三十名
受洗者二名

正午及び夕の二回親睦、懇話會十数名
同夜講演、磯部 牧野 約三十名
二十二日午後二時 婦人會二十五
引續き協議會

同夜家庭集會 小川院長方二十名
外に訪問及び北陵見物等
清水氏は支那語研究及び支那交際に務められる。近頃支那人の篤志家を得て日曜學校を開始し、漸次伝道の準備をなしをらる。前途遼遠、此上とも同氏の奮闘を望む者は予のみではあるまい。(牧野虎次記)

「基督教世界」に記された清水安三先生のお働きの様子は以上で終わっています。この後「基督教世界」大正八年（1919）四月十日の個人消息欄に、「清水安三氏留学のため北京に赴かる」とあります。

清水安三先生が何時まで瀋陽に居られ、何時北京に行かれたのか、資料によってまちまちです。「朝陽門外」九五頁では「わたしは民国八年五月北京に来た」と書いておられますが「北京清譚」一一九頁では「わたしは民国八年一月に奉天を去って北京に乗り込んだ」とあり、同一人が書いているのに四ヶ月も違うのです。この遍が清水安三流というか、そんなことはどうでもいいのかも知れませんが。

一九七二年（昭和四十七年）六月三〇日発行の「朝日ジャーナル」で、太田雅夫氏が記すところでは、「三月二五日に北京入りをした」とあり、一九九二年（平成九年）三月発行の「キリスト教社会問題研究」第四号に、寺崎暹牧師が寄稿した「清水安三と中国」によると、「中国人伝道は振わず、一九一八年一月一三日クリスマス礼拝で打ち切り」とあります。もう一つの資料は清水安三先生が大阪江戸橋の組合教会宛に出された挨拶のがきで、四月二五日付です。それから、思うに年度末に引越して一ヶ月程落着いた頃に出されたかな、とすると太田雅夫氏の「朝日ジャーナル」が正しいかなと思います。

私がそれを裏付ける決定的な資料とするのは、「基督教世界」大正八年（1919）五月二二日付に清水安三先生自ら投稿された「北京通信」で、冒頭に「三月々底、住み慣れし奉天を離れ燕京に到着」とある言葉

です。いずれにしろ清水安三先生は中国人にキリスト教を伝える使命を全うするには中国語をものにしなければならぬと痛感され、瀋陽を諦め、北京で中国語学習の途へと進まれたに違いありません。

（小林茂 51高）

2014年桜美林学園ニュース

1. I A U P（世界大学総長協会）総会

6月11日から14日まで横浜で開催され、佐藤東洋士・桜美林大学総長が新会長に選出された。

2. ビジネスマネジメント学群、定員増加

2015年度より入学定員を80名増やし、定員は480名となる。

3. 箱根駅伝予選会に初出場

大学陸上競技部駅伝チームが1年生部員のみで発足。10月の箱根駅伝予選会に初出場し、48チーム中29位と大健闘。

4. プロ野球ドラフト会議

10月の日本野球機構（NPB）・ドラフト会議で野球部OBの川相拓也さんが読売ジャイアンツから育成枠指名を受けた。桜美林史上初。

ベースボール・チャレンジ・リーグのドラフトでは、桑田真樹さん（LA4年）が新潟アルビレックスから指名された。

5. 活発な国際交流

北京語言大学・外国語学院長による特別講演実施。（2月）
孔子学院と芸文演劇専修学生による京劇・中国（天津・北京）公演、大成功。（3月）

トルコ・アクデニス大学教員によるレクチャー実施。（5月～6月）
モンゴル文化教育大学と共同シンポジウム開催。（8月）

佐藤理事長、モンゴル国最高勲章「北極星勲章」受章。（10月）

梅蘭芳生誕120周年記念講演会（10月）
イタリア・シエナ外国人大学と協定締結。（11月）

EUと日本の共同留学プログラム（VIBE）始動。（11月）
桜美林大学・北京大学学術シンポジウム「環境と人間の営み」開催。（12月）

6. 学生の活躍

学生観光論文コンテストで最優秀賞と優秀賞を獲得。（2月）
産官学連携「多摩未来奨学金」制度がスタート。

国連アカデミックインパクトの学生団体「ASPIRE JAPAN」、I A U P 総会に参加。（6月）

国際交流基金JOIプログラムでBM卒業生がミシガン州立大学に派遣。（8月）

7. 大学のスポーツ

【陸上競技部駅伝チーム】

第93回関東学生陸上競技対校選手権大会
1500m ラザラス・モタンヤ（健福1年）
3'49"84 優勝

2014年度日本学生陸上競技個人選手権大会
1500m ラザラス・モタンヤ（健福1年）
3'51"72 優勝

【野球部】

首都大学野球連盟春季1部リーグ戦
8勝5敗1分（2位／8チーム）
首都大学野球連盟秋季1部リーグ戦

6勝6敗2分（4位／8チーム）
首都大学野球連盟新人戦 準優勝

【弓道部】

東京都学生弓道連盟新人戦 男女アベック優勝

男子 全関東学生弓道選手権大会準優勝

男子 東京都学生弓道連盟リーグ戦1部準優勝

女子 東京都学生弓道連盟リーグ戦1部優勝

女子 全日本大学弓道女子王座決定戦準優勝

【アメリカンフットボール部】

関東学生アメリカンフットボール連盟
2部Aブロック 1勝4敗2分
（6位／8チーム）

【ソングリーディング部】

World University Cheerleading Championships 2014（1月@アメリカ）
CREAM（Bチーム）POM部門初優勝

【バレーボール部】

女子バレーボール部…関東3部リーグ戦優勝 2部リーグ昇格決定 以上

8. 大学生の就職活動、順調に推移

FOコース3期生が全員航空会社就職。4年生就活、好調に推移。

9. 中学校・高校のニュース

桜美林高校卒業（1970年度）の蔡兆申（ツァイ・ Zhao Shen）さんが量子コンピュータ研究で江崎玲於奈賞を受賞。（11月）（4ページに関連記事）

10. 孔子学院のニュース

孔子学院創立10周年記念「日中大学生京劇公演」を北京と天津で実施。（3月）

早おきすると…
水平線から上がる朝日も楽しめます。

伊豆高原クラブ便り

客室は全てオーシャンビューです



地元の方からも絶賛をいただく伊豆高原クラブからの眺めです。実際には、この左側に倍以上のバノラマが広がっています。

まだお越しいただいていない同窓生の皆様にこんな素敵な場所に、母校の施設がある事を、知っていただきたいと思っています。



伊豆高原一番の高台から見下ろす新緑の高原と、その向こうに広がる海と空：その間に浮かぶ大島、フレイムに納まりきれない絶景と、気持ちよく抜けた大空の雄大さをぜひ体感しにいらしてください。全室オーシャンビューです。



広い客室からは、高原一帯と相模湾に浮かぶ伊豆諸島が見渡せます。

ベッド+和室10畳（定員7名）12室
和室10畳+リビング（定員5名）2室
ベッド同伴部屋（定員4名）1室



海を望む大浴場。源泉は大室高原温泉。

泉質：アルカリ性単純温泉
効能：神経痛・筋肉痛・関節痛
五十肩・慢性消化器病など

同窓会特典つきプラン

【お値段そのまま特典つき】

- 一、ご案内通知の作成・郵送
- 二、出欠の受付・名簿の作成
- 三、伊豆高原駅から無料送迎
- 四、ご夕食に乾杯ビール付き
- 五、記念写真プレゼント

（10名様以上、70名様まで）

※70名様以上の場合立食形式となります。宿泊可能人数103名
通常料金で右記のサービスを含まむお得なプランです。団体様は半年前からご予約承ります。

（ご案内ハガキ100枚まで無料）

■伊豆高原クラブ宿泊料金■

○大人（中学生以上・平日）

1泊2食：9000円
夕食のみ：8000円
朝食のみ：7500円
素泊り：6500円

○学生（中学・大学生・平日）

1泊2食：8000円
（消費税込・別途入湯税150円）
週末・祝前日・ハイシーズン
料金についてはホームページ
もしくはフロントまで。

※桜美林学園の学生・生徒には

1泊につき3000円の補助
が出ます。（ゼミ以外も可）

★卒業生特別割引★

卒業生様への割引がございますのでご予約時にお申し出ください。

TEL・0557-5114846

E-mail club@obirin.ac.jp

http://www.obirin.jp/izucub

学園からのお知らせ

「遺贈による寄付制度」

遺言書作成のアドバイスから遺言書の保管、遺言の執行まで信託銀行が一貫して行う遺言信託を利用することにより、桜美林学園への遺贈を希望される方ができます。募金担当（042-797-9977）までご一

報くださるか、提携している三井住友信託銀行またはみずほ信託銀行へ直接ご相談ください。

三井住友信託銀行 相続遺言相談デスク 0120-1181-536

みずほ信託銀行 町田支店 042-7261-1611（平日9:00-17:00）

詳しくは学園ホームページで、または「桜美林遺贈」で検索。

▼“同窓会だより”193号をお届けします。盛沢山の16頁立になりました。

▼先号まで「食欲旺盛お元気」とお伝えしていた川村健爾先生が102年の生涯に終止符を打たれました。今回は特に追悼記

編集後記

ね。（小林 茂51高）

事務局より

来たる8月8日（土）より
8月16日（日）迄
お休み致します。

と共に、川村先生ご自身がお書きになっていた思い出の記「創立時代の桜美林と私」を載せました。これで桜美林学園草創期、清水安三先生ご夫妻をお助けしていた先生方は全員天上の人になられたこととなります。これも学園の歴史だなぁと感慨入りのものがあります。

▼前号の「ひろば」に「97才で現役……」と投稿された、秦野の高橋幸枝先生をスタッフが訪問し、インタビューすることが出来ました。元氣綽々、さすが現役ですね、尚高橋先生は桜美林の前身、崇貞学園で清水安三先生をお助けしていた方です。

▼清水安三先生のお話は今回初めて中国（瀋陽）に行かれた足跡を辿って見ました。大学を卒業したばかりの先生の若々しい姿が浮かびます。特に日曜日は中国人向日曜学校、日本人向日曜学校、中国人向礼拝、日本人向礼拝、夜の集会を一人でこなされた由、すごいスタミナでしたね。（小林 茂51高）